

令和7年度  
未来を切り拓く  
Dream授業  
報告書

令和7年8月4日～8月7日



静岡県 企画部 総合教育課

## 目 次

1	授業概要	1
2	授業開催までの流れ	2
3	受講生の概要	3
4	授業スケジュール	5
5	講師・講義内容一覧	6
6	講義の様子	7
7	グループディスカッション・発表	10
8	受講生の振り返り	13
9	受講生アンケート集計結果	14
10	保護者の感想	16
11	ユースリーダー	18

# 1 授業概要

1 日 程 令和7年8月4日（月）から8月7日（木）まで （3泊4日）

2 方 法 対面による講義、グループディスカッション及び発表

3 会 場 静岡県立焼津青少年の家（焼津市石津 2259-408）  
ふじのくに地球環境史ミュージアム（静岡市駿河区大谷 5762）

4 受 講 生 県内の中学1年生・2年生 計27人

## 5 授業の概要

(1) 各界を代表する講師陣による講義【世界・地域・社会を知る】（50音順、敬称略）

講師	役職等
アルバレス アントニ	ふじのくに国際交流親善大使
岸本 年郎	ふじのくに地球環境史ミュージアム教授
小山 真人	火山学者、静岡大学名誉教授、静岡大学防災総合センター客員教授
杉浦 佳子	東京パラリンピック、パリパラリンピック自転車競技金メダリスト
鈴木 俊夫	SBS番組制作プロデューサー、ごちそうマート運営
SPAC劇団俳優	(公財)静岡県舞台芸術センター（三島景太、館野百代、宮城嶋遥加）

※役職は開講当時

(2) ALTとの交流【世界に触れる・多文化を知る】

世界各国から静岡県に来ている県立高等学校のALTとの交流

(3) 俳優による表現指導等【感性を養う・表現力を磨く】

現役の劇団俳優によるデモンストレーションとワークショップ

(4) 同世代の仲間とのディスカッション【思考力・判断力・協調性を高める】

互いに志を持つ同世代の仲間との意見交換を通じた学び合い

(5) プレゼンテーション【共感力・発想力・表現力を磨く】

相手に伝わる手法を学んでグループディスカッションの成果を発表

## 2 授業開催までの流れ

### 1 受講生募集

本年度は、県内の全中学校（義務教育学校、中等部を含む）へ電子メールで募集要項等を送付して周知を依頼するとともに、募集ポスター（A3サイズ）を郵送で送付し、中学1・2年生（義務教育学校7・8年生）の各教室へ掲示を依頼する形で参加者を募集した。

募集期間については、前年度より約1週間程前倒した4月14日（月）に開始した。さらに、応募期限についても2週間延長した6月19日（木）とすることで、十分な周知・応募期間を確保した。

応募手続きは、県電子申請サービスを使用し、氏名や住所等の必要事項と作文を入力する形式とした。インターネット環境が整わない場合を考慮し、電話での受付も行った。

### 2 受講生決定

27人からの応募があり、応募者全員を受講生として決定した。受講決定者には6月23日付け企教第60号で通知を行い、受講決定者の所属する中学校長宛てにも同日付けで通知した。

### 3 事前課題

受講生には、受講決定通知の際に課題を提示した。課題の内容は「理想のまち」についての作文であり、これはグループディスカッションのテーマとして活用する予定であった。

提出期限は、参加手続関係書類（提出期限：6月27日（金））とは別に、7月11日（金）必着とした。



### 4 グループ編成

研修班や交流班は、受講生が多様な意見や考えに触れる機会を確保するため、提出書類に基づき、学年、性別、所属校、居住地等になができるだけ重ならないように配慮し、男女混合で編成した。宿泊については、男女別の宿泊班を別途編成した。

### 5 ユースリーダーの協力依頼

過去の「未来を切り拓くDream授業」及び「日本の次世代リーダー養成塾」に参加した高校生以上の者に対し、授業の運営補助やグループディスカッションにおける助言を行うユースリーダーとしての協力を呼び掛けた。

4月25日付け企教第25号で協力を依頼し、5月21日（水）までの応募期間内に16人の申込があったため、抽選を行い6人（大学生1人、高専生1人、高校生4人）に依頼することとした。

### 3 受講生の概要

#### 1 受講生の学年・性別

学年	男子	女子	計
中学1年生	6人	14人	20人
中学2年生	1人	6人	7人
計	7人	20人	27人

#### 2 受講生の所属中学校一覧

※( )内の数字は2人以上の場合の人数

学校所在市町	学 校 名	
静岡市(13)	静岡大学教育学部附属静岡中学校	静岡市立大里中学校(2)
	静岡市立城内中学校	静岡聖光学院中学校
	静岡学園中学校(5)	静岡サレジオ中学校(2)
	常葉大学附属常葉橘中学校	
浜松市(4)	静岡県立浜松西高等学校中等部	浜松市立中部中学校
	浜松市立富塚中学校	浜松市立浜名中学校
裾野市	不二聖心女子学院中学校	
三島市	三島市立北中学校	
沼津市	沼津市立沼津高等学校中等部	
富士市	富士市立富士川第一中学校	
焼津市(5)	焼津市立大富中学校(2)	焼津市立焼津中学校(2)
	焼津市立和田中学校	
島田市	静岡大学教育学部附属島田中学校	

#### 3 在籍学校種別

種類	人数
国立	2人
公立	15人
私立	10人
計	27人





#### 4 将来の夢

(順不同)

将来の夢	人数	将来の夢	人数
獣医師	1	医師	2
音楽を通して人々に笑顔や感動を届ける仕事	1	保育士	1
世界で活躍できるようなダンサー	1	J R Aの職員	1
ソフトウェアやゲームなどを作る職業	1	看護師	1
ゲームクリエイター	1	プロ棋士	1
声優	2	化粧品開発者	1
エネルギーや食品などを作り出す研究者	1	動物関係(ハムスターなどの小動物)	1
悩みを抱える人の助けになれる人になりたい	1	小学校の先生	1
サッカー選手	1	ラジオパーソナリティー	1
絵を描くことを活かせる仕事	1	製薬開発者	1
動物の保護や世界の地球環境を守る仕事	1	何事も楽しめる人間になりたい	1
人を笑顔にする仕事	1	まだ決まっていない	2



# 4 授業スケジュール

	8月4日(月)	8月5日(火)	8月6日(水)	8月7日(木)		
6:30					6:30	
7:00		6:30-6:55 起床・準備	6:30-6:55 起床・準備	6:30-6:55 起床・準備	7:00	
		7:00-7:20 朝のつどい グループディスカッション準備	7:00-7:20 朝のつどい グループディスカッション準備	リネン返却・荷物移動 発表準備		
8:00		7:40-8:20 朝食	7:40-8:20 朝食	7:40-8:20 朝食	8:00	
		8:20-9:20 グループディスカッション③ 次時の準備	8:20-10:40 グループディスカッション⑦	8:30-10:10 発表・審査		
9:00		講義③ 9:30-9:45 SPAC劇団俳優・講義				
10:00		9:55-11:50 SPAC劇団俳優 表現指導等			次時の準備	審査結果発表・講評
11:00	11:00-11:25 受付・諸連絡 11:30-12:00 入所式・オリエンテーション	レポート記入・振り返り	講義⑤ 10:50-11:50 小山真人講師	10:30-11:30 1人1分スピーチ	11:00	
12:00	12:00-12:40 昼食	12:00-12:40 昼食	12:00-12:40 昼食	閉講式・諸連絡・記念撮影	12:00	
	次時の準備	次時の準備				
13:00	講義① 13:00-14:00 杉浦佳子講師	講義④ 13:00-15:40 アルバレズ・アントニ講師	12:45-13:30 バスでの移動		13:00	
14:00	レポート記入・振り返り 講義② 14:20-15:20 鈴木俊夫講師	ALTとの交流①	13:30-16:00 ふじのくに 地球環境史ミュージアム		14:00	
15:00	レポート記入・振り返り	ALTとの交流②	講義⑥ 15:00-16:00 岸本年郎講師		15:00	
16:00	15:45-16:15 全体交流の時間 (アイスブレイク) 16:20-16:45 宿泊部屋移動・リネン受取	レポート記入・振り返り	16:00-16:45 バスでの移動		16:00	
17:00	16:50-17:10 夕べのつどい	16:50-17:10 夕べのつどい	レポート記入・振り返り 17:00-17:30 1人1分スピーチ原稿作成		17:00	
18:00	17:30-18:15 夕食	17:30-18:15 夕食	17:30-18:15 夕食		18:00	
19:00	18:20- グループディスカッションについて 発表順・テーマの決定 グループディスカッション① 各班テーマの発表	18:20- グループディスカッション⑤ 中間発表	18:20- グループディスカッション⑧		19:00	
20:00					20:00	
21:00	入浴 グループディスカッション②	入浴 グループディスカッション⑥	入浴 グループディスカッション⑨ 発表リハ-ル		21:00	
22:00	就寝準備・就寝	就寝準備・就寝	就寝準備・就寝		22:00	
22:30					22:30	

## 5 講師・講義内容一覧

(役職は開講当時、講義順、敬称略)

### 1 杉浦 佳子 / 東京パラリンピック、パリパラリンピック自転車競技 金メダリスト

講義内容 : あなたの未来を切り拓く要因 ~失敗を成功につなげよう~

日 時 : 8月4日(月) 13時~14時

場 所 : 県立焼津青少年の家 視聴覚室



### 2 鈴木 俊夫 / SBS番組制作プロデューサー、ごちそうマート運営

講義内容 : なんのためにはたらくのか?

日 時 : 8月4日(月) 14時20分~15時20分

場 所 : 県立焼津青少年の家 視聴覚室



### 3 SPAC / (公財)静岡県舞台芸術センター

講義内容 : 静岡から世界へ 舞台俳優の仕事について

日 時 : 8月5日(火) 9時30分~11時50分

場 所 : 県立焼津青少年の家 視聴覚室、オリエンテーション室



### 4 アルバレス アントニ / ふじのくに国際交流親善大使

講義内容 : 私と多文化共生

日 時 : 8月5日(火) 13時~15時40分

場 所 : 県立焼津青少年の家 視聴覚室



### 5 小山 真人 / 火山学者、静岡大学名誉教授、静岡大学防災総合センター客員教授

講義内容 : 大地の営みを読み解く

日 時 : 8月6日(水) 10時50分~11時50分

場 所 : 県立焼津青少年の家 視聴覚室

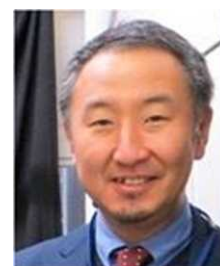


### 6 岸本 年郎 / ふじのくに地球環境史ミュージアム教授

講義内容 : 生物多様性とその価値

日 時 : 8月6日(水) 15時~16時

場 所 : ふじのくに地球環境史ミュージアム 視聴覚室





## 6 講義の様子

(役職は開講当時、講義順)

### 東京パラリンピック、パリパラリンピック自転車競技 金メダリスト

○杉浦 佳子 講師「あなたの未来を切り拓く要因 ～失敗を成功につなげよう～」



迷惑をかけて「すみません」という気持ちを「ありがとう」に変えた。「ありがとう」の連鎖がみんなの夢につながる。短所は努力と工夫で乗り越え、失敗を恐れずに失敗から改善点を見つけてどんどんチャレンジして欲しい。——など、経験を基にしたお話に、「これからは自分ばかりを責めずに『ありがとう』の気持ちを大切にしていきたい」「何でも上手にやりたいたいと思ってしまうが、失敗してもいいんだと思うと少し安心する」という受講生の感想があった。

### SBS番組制作プロデューサー、ごちそうmart運営

○鈴木 俊夫 講師「なんのためにはたらくのか？」



「聞く」を極めることが重要、コミュニケーションが上手な人は人の話を聞くのが上手な人。働くことは誰かのためになること。仕事を好きになる、誰かを助ける、感動させるという気持ちがあると長く続く。——など、テレビ記者歴41年の経験からお話いただいた。「コミュニケーション能力が高い人は、積極的に話す人や、話すことが上手な人だと思っていた」「人の話を聞くことを意識していきたい」という受講生の感想が多くあった。

## SPAC(公益財団法人 静岡県舞台芸術センター)

○宮城嶋 遥加 講師「静岡から世界へ 舞台俳優の仕事について」

○表現指導(三島 景太 講師、館野 百代 講師、宮城嶋 遥加 講師)



SPACの概要や、演劇や舞台俳優の仕事等についてお話しいただいた。「人間は演じる生き物」という言葉が印象的であった。舞台俳優から直接指導を受けられる機会であることから、この講座を心待ちにしていた受講生も多かった。講座では、呼吸法や重心移動といった基礎的なトレーニング指導に加え、身振り手振りを交えた表現で『ロミオとジュリエット』の台本を読む実践的なシーンも設けられ、受講生たちは皆、真剣な表情で演技に取り組んだ。

## ふじのくに国際交流親善大使

○アルバレス アントニ 講師「私と多文化共生」

○ALTとの交流(県立高等学校ALT6人)



完全な多文化共生の社会を実現することは難しいと思っている。しかし、自分が行動を起こすことで、「波紋」のように最初は小さいがどんどん広がっていくと思っている。何年後、何十年後かには、完璧ではないかも知れないけれど、本当の意味で「共に歩める」新しい社会が来ることを信じて活動している。——など、素直でまっすぐなお話をしてくださった。ALTとの交流では、各交流班にALTが入り、互いの文化の違いについて英語で意見交換を行った。



火山学者、静岡大学名誉教授、静岡大学防災総合センター客員教授  
○小山 真人 講師「大地の営みを読み解く」



中学生時代に図書室で「日本沈没」の小説に出会ったことが今につながっている、点と点をつなぐ、形を変えても夢は叶う。——など、現在の火山学者になるまでのご自身の経験をもとに、夢を実現することに対して、「諦めないことの大切さ」についてお話しいただいた。また、宇宙線ミュオンを使った山体の透視研究では、大室山での研究を例に、火山活動観測の最新の研究についてスライドを用いながら説明していただき、受講生は積極的に質問していた。

ふじのくに地球環境史ミュージアム教授  
○岸本 年郎 講師「生物多様性とその価値」



「バナナは野菜か果物か」など「分類」はとても大切。しかしこれは一筋縄ではいかない作業。すべての生き物は細菌も含めて、もともと1つの種であったと科学的に考えられること、蜂が年間4700億円分の経済的価値の働きをしてくれていること、世界にはまだ発見されていない生物が沢山存在する。——など、教えていただいた知識により、「新たな視点」を持つことができた受講生が多かった。また、生物多様性の「価値」についても理解した様子であった。

# 7 グループディスカッション・発表

## 1 グループディスカッション

### (1) 進め方・時間配分等

私たちの「理想のまち」をテーマに、5つの研修班（各班5～6人）に分かれてグループディスカッションを行った。以下の順番で活動を進めた。

#### 【オリエンテーション】

授業初日に実施。4日間のグループディスカッションの日程、中間発表、発表方法、投票方法などを確認し、発表順を抽選で決定した。



#### 【意見交換】

1人1人にワークシートを配布。各自、事前に取り組んだ事前課題の内容を班内で発表し、各々の意見を共有。それを元に、班ごとにテーマを設定した。



#### 【ディスカッション】

班ごとに考えたテーマに従って、「理想のまち」について意見を交換。各講師による講義の内容も参考にしながら、1つの方向に意見をまとめていった。



#### 【中間発表】

どこまで情報を発表するかは各班に任せ、中間発表を行った。情報を共有することにより、新しい気づきにもつながった。その後、発表内容を修正する班もあった。



#### 【ポスター作成】

各班模造紙2枚に、色マジックを用いて、ディスカッションにより生み出された発表内容をまとめた。模造紙とは別に、立体的な模型を作成した班もあった。



#### 【発表練習】

ユースリーダーから発表技法を教わりながら、発表者や発表順などを各班で確認。発表原稿作りにも挑戦した。「相手に伝わる発表」を仲間とともに考えた。





## (2) 受講生の様子

受講生は主体的かつ積極的にディスカッションに参加し、各研修班では活発な議論が展開された。意見や考え方の相違から議論が白熱する場面もあったが、ユースリーダーからの助言を得て、「発表」という目標に向け、難航しながらも意見を取りまとめることができた。

この経験を通じて、自身の意見を他者に理解してもらうことの難しさ、そして他者の意見を受け入れることの重要性を学ぶことができた。

## 2 発表

各班 10 分の持ち時間で発表を行った。ポスターを用いて、観覧者に考えを分かりやすく伝える工夫を凝らしながら発表した。その後、ホワイトボードにポスターを掲示し、各班の発表者が対応し、来場した保護者を含め、参観者と直接質疑応答しながら説明・意見交換するポスターセッションを行なった。

### A 班 「好き」をのばせる町



### B 班 幸福度 No1 の静岡のまち





## C 班 住民が住みやすい町！



## D 班 全ての生き物が住みやすく 笑顔でいられる町！ in 帆穂向実愛



## E 班 人が沢山集まる街



## 8 受講生の振り返り

### 1 振り返りレポート等

各講義終了後、受講生は「振り返りレポート」を記入し、まとめと振り返りを行った。

#### (1) 講義

講義を通して自分の夢や将来に、より前向きに挑戦しようとする意思が伺えた。

<振り返りレポート、受講生アンケートから>

- ・ 普段生活していたら接することのなかった人たちや講師の皆さんと交流することができ、将来に役立つ話を聞くことができた。
- ・ 専門的な講義では、全然知らなかったことを沢山知ることができてよかった。これをきっかけに、色々なことに興味を持つようになった。
- ・ 一番楽しみにしていたのはSPACの講義だったが、他の講義でも多くの学びを得られた。

#### (2) 3泊4日の仲間との生活

初めて出会った仲間と活動を共にする中で人間関係が広がり、また、普段の学校生活とは異なる宿泊行事に参加できたことが成長につながったと感じた受講生が多かった。

<受講生アンケートから>

- ・ 学校であまり話したりしないので、ここで友達ができてうれしかった。
- ・ 新しい仲間と出会い絆を深めることができた。未来について深く考えることができた。
- ・ 最初は早く家に帰りたいかったけど、めっちゃ楽しくて、すごく短かったように感じた。



### 2 1人1分スピーチ(発表)

4日目の最終日、受講生が4日間を振り返る「1人1分スピーチ」を行った。講義室で全員の前に立ち、3泊4日の全てのプログラムを受講しての感想や将来に向けての思いなど、自分が感じたこと、得たことをそれぞれが自分の言葉で堂々とした姿で発表した。観覧に来ていた保護者の方々も、こどもたちの成長した姿を写真に収めていた。





## 9 受講生アンケート集計結果

受講生には、全日程終了後に「Dream授業」全般についてのアンケートを実施した。主な質問に対する回答結果は下記のとおりである。

問 「未来を切り拓くDream授業」に参加して良かったですか。

1	とても良かった	23人	85.2%
2	良かった	4人	14.8%
3	普通	0人	0.0%
4	あまり良くなかった	0人	0.0%
5	良くなかった	0人	0.0%
合計		27人	

○「とても良かった」「よかった」を選んだ理由（主なもの）

仲間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校であまり話したりしないので、ここで友達ができうれしかった。</li> <li>・新しい友達もでき、講義では自分の将来に有効な話をたくさん聞いた。</li> <li>・仲間と意見を言い合い、思い出に残るグループディスカッションができた。</li> <li>・仲間との絆を深め、将来の夢へ一歩近づくことができた。</li> <li>・みんな知らない人同士だったが、仲良くなってグループディスカッションや共同生活を送ることができた。</li> <li>・講義がとても楽しかったし、仲間と話すのが楽しかった。</li> <li>・普段は交流することのない異なる中学校の人たちと話したり協力したりして、一つのものを作り上げることができた。</li> </ul>
新しい知識や考え	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい発見があった。</li> <li>・たくさんの講義を聞いて、たくさんの考え方を知ることができた。</li> <li>・講義からは多くのことを学び、グループディスカッションでは、現場で大切なことや人と人のつながりについて深く理解することができた。</li> <li>・一番楽しみにしていたのはSPACの講義だったが、他の講義でも多くの学びを得られた。</li> <li>・普段生活していたら接することのなかった人たちや講師の皆さんと交流することができ、将来に役立つ話を聞くことができた。</li> </ul>
自分の成長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に人に話しかけることができるようになり、とても充実した4日間だった。</li> <li>・様々な人と出会い、経験を積むことができた。</li> <li>・絆を深められた。未来について深く考えることができた。</li> </ul>

夢や将来	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夢について詳しく知ることができ、様々な考え方も学ぶことができた。</li> <li>・自分の夢に向かって目指すこと、頑張ることを見つけられた。</li> <li>・自分の夢に向かってどうすれば良いとか、これからの生活に生かすことができることを知ることができた。</li> <li>・今まで夢は大きなものだとばかり考えていたが、身近な夢も大切にしたいのだと気づき、自身の夢に近づくことができた。</li> <li>・自分の夢に少し近づくことができた。</li> <li>・多くのことを学ぶことができ、夢に向かって進んでいけそう。</li> </ul>
------	--

**問 授業の日程は長かったですか、短かったですか。**

1	長かった	4人	14.8%
2	ちょうど良かった	16人	59.3%
3	短かった	7人	25.9%
合計		27人	

「長かった」「短かった」と答えた11人

**どのくらいの日程が良かったか。**

1	1日	1人	9.1%
2	2日	0人	0.0%
3	3日	3人	27.3%
4	5日	4人	36.4%
5	6日	3人	27.3%
6	その他	0人	0.0%
合計		11人	

**問 Dream授業に参加した感想など、自由に入力してください。**

- ・3泊4日という短い期間だったが、たくさんの友達ができ、今まで知らなかったことを知り、良い経験になった。
- ・同年代とはいえ、見ず知らずの人たちと4日間一緒に生活することは、内向的な私にとって不安だった。それでも夢のために飛び込んでみたら、私と趣味が同じ子や、私の特技を見てすごいと思ってくれる子がいて、とても嬉しかった。自分を見つめ直すこともでき、参加して良かったと心から思える4日間だった。
- ・実際授業を受けてこれからの人生を考える良い機会になった。受けて後悔したことはない。
- ・皆が将来の夢をきちんと持っていて、いろいろ話せて自分も自分の考えや意見を持ってディスカッションすることの大切さがわかった。また、講師の先生の話はとても面白かった。一番勉強になったのはアルバレス アントニ先生の授業で、先生の話聞いて私も視野を広げて世界を見て、人の役に立つ人になりたいと思った。
- ・親から離れて4日過ごし、自分だけではできないことが多くあると自覚させられた。しかし、自分で生活する力が身についたとも実感した。
- ・参加する前はどのようなことをするのか具体的に分からず、知らない仲間たちとうまくやっていけるか不安でした。実際に参加し、様々な活動を経験することで私自身の考え方が変わったので、参加できる人はぜひ参加して欲しい。

## 10 保護者の感想

D r e a m授業終了2か月後に、保護者を対象にアンケートを実施した。学習面だけでなく、生活面等においても、参加前に比べて「積極的に行動するようになった」など、前向きに行動しようとする意識が高まったことがうかがえた。また、実際の行動にもその変化が表れている様子であることから、参加後まもなく、受講生の意識の変化が行動に反映されたと考えられる。

主な意見は以下のとおりである。

問 D r e a m授業参加後のお子様に、どのような変化がありましたか。

学習面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来どのようにありたいか、自分はどう生きるべきか真剣に考え、学習に取り組む姿が見られるようになった。</li> <li>・勉強することに対して少し前向きになった。</li> <li>・今まで以上に積極的に学習に取り組むようになった。</li> <li>・積極的に学習するようになった。</li> <li>・学校の授業だけでなく、色々なことに興味を持つようになった。</li> </ul>
生活面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分がやってみたいと思ったことを、声に出すようになった。</li> <li>・褒められると謙遜していたが、謙虚に受け止められるようになった。</li> <li>・自分のことを自分でしようとする姿勢が見られるようになった。</li> <li>・D r e a m授業で学んだ自分で考えて行動する大切さが、家庭での生活にも良い影響を与えている。</li> <li>・決められた家のお手伝いを責任持ってやるようになった。</li> <li>・以前よりも家の手伝いや準備などを積極的に行い、日常生活の中で責任を持つ意識が高まった。</li> <li>・家での手伝いをてきぱきできるようになった。</li> <li>・弟たちへの声かけが増えた。</li> <li>・将来のことを少し想像できるようになった。</li> <li>・少しは将来のことを見据えて行動することができているのかなと感じる。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分以外の意見を聞く力が伸びた。</li> <li>・チャレンジ精神が身についた。</li> <li>・自信がついた様子があった。</li> <li>・自分の苦手を発見できた。</li> <li>・「ボランティアをやりたい」「英語弁論大会に出たい」など、積極的になった。</li> <li>・学校や部活以外のことにも、少しずつ関心を持つようになってきた。</li> <li>・人との関わり方が上手になった。</li> <li>・多文化の方々と接して、考え方の変化があり、自分自身を少し肯定的に感じるようになった。</li> <li>・普段触れ合わない子どもや講師に会い、良い経験になったと思う。</li> </ul>



問 Dream授業参加後のお子様の感想で、特に印象に残る内容はどのようなものですか。

<発言>

- ・初めて知ったことがいっぱいあった。
- ・自分がやってきたことが発揮できて自信がついた。
- ・グループディスカッションで、皆の意見をまとめる事が難しかった。
- ・グループの雰囲気がとても良く、またユースリーダーの話も為になることが多く、とにかく楽しい4日間だった。
- ・皆で一つの事を完成させることができ、達成感を得られた。
- ・班のみんなと仲良くなれて嬉しかった。来年も行きたい。
- ・学校以外の、年齢もバラバラな子たちと生活を共にすることは初めてだったので、最初は緊張したが、楽しく過ごせた。
- ・ALTの先生が良かった。
- ・アルバレス アントニ先生から多文化共生の話が聞けて良かった。
- ・楽しかった！！行ってよかった！！
- ・来年も参加出来るならしたい。いずれユースリーダーのボランティアをしたい。
- ・ふじのくに地球環境史ミュージアムがとてもおもしろかったからもう一度行きたい。
- ・スマホ依存症気味だったが乗り越えられた。

<様子>

- ・杉浦さんの講話はとても心に残っていたようです。
- ・講師の杉浦佳子さんが授業で話されていた「本番前は深呼吸！」という言葉が、一番身近に感じられたようで、「すぐに取り入れてみよう！」と印象深く話していた。
- ・講演を聞き、心に残っていることがあったと話してくれた。
- ・ふとした時に講師の方の話がでたことがあり、感化されたところがあったと思う。
- ・SPACの講座がとにかく楽しかったようです。
- ・最終日の発表会。班のみんなと協力して課題に取り組む様子を見ることができて良かった。
- ・解散のときも、友達とすごく仲良くなり、楽しそうにしていたことが印象深い。
- ・グループディスカッションを通して、自分の意見を人に伝えることや、みんなの意見をまとめることの難しさを感じたようです。
- ・夢を持った仲間と出会え、お互いを高め合うことができたことが大変印象に残りました。
- ・この体験を作文に書かせたらなかなか良い作文を書いた。



# 11 ユースリーダー

## 1 ユースリーダー

ユースリーダーは、D r e a m授業の運営の一翼を担うボランティアで、過去の「未来を切り拓くD r e a m授業」または「日本の次世代リーダー養成塾」の参加者で、高校生以上を対象に協力を募った。応募のあった16人の中から、今年度は大学生1人、高等専門学校生1人、高校生4人の計6人に協力をお願いした。

ユースリーダーには、授業の準備や講義内容の記録といった事務的な作業にとどまらず、受講生への助言や生活全般の指導など、多岐にわたる場面で協力していただいた。ユースリーダーの力なくして、授業を円滑に進めることは不可能だったと言える。ユースリーダーの活躍に感謝するとともに、深い敬意を表したい。

講義の後の振り返りやディスカッションで受講生に助言したり、悩みに寄り添ったり、一緒に生活していく中で、ユースリーダー自身も大きく成長していく姿が見受けられた。ユースリーダーとしてD r e a m授業に参加した経験が、自らの夢に向かって努力を続ける力となり、社会に大きく羽ばたいていくことを願っている。

過去参加者と現役受講生との交流は、互いに成長する良い循環を生み出しており、高校生になりユースリーダーとしての参加を希望する受講生がたくさん出てくれることに期待したい。

## 2 ユースリーダーに対する受講生の感想（事後アンケートより）

- ・積極的に話しかけてくれて、1日目の硬い雰囲気をはぐしてくれた。
- ・グループディスカッションの時に、アイデアのヒントになるアドバイスをくれたり、ワークシートにイラスト付きのコメントをくれたりした。
- ・講義ごとの振り返りシートには、一枚一枚コメントを書いてくれて嬉しかった。これにより他の考え方を知る機会にもなった。また、班の発表準備では、様々なアドバイスをしてくれて、より良い発表を模索することができた。
- ・意見がまとまらなくて困っていた時、アドバイスしてくれた。
- ・皆さん優しく、中学生の私たちの面倒を見てくれた。私たちの班のユースリーダーさんは、グループディスカッションの時に、全てを進行するのではなく、話が逸れてしまった際に本題に戻すなど、私たちが成長できるように工夫してくれていた。
- ・グループディスカッションの際、自分たちの意見が行き詰まったり、時には衝突したりする状況になった時、新しい視点からアドバイスをくれた。
- ・うまくグループに入れるようにと声をかけてくれたり心配してくれて、困った時は教えてくれた。どこの高校に通ってどんな夢があるなど教えてくれて、とても参考になった。
- ・高校について話を聞いた。高校の問題を見せてもらった。勉強を教えてもらった。
- ・真面目にやる時には一緒に真面目に考えてくれて、遊ぶ時間は一緒にふざけてくれた。
- ・ユースリーダーが楽しく班の雰囲気を盛り上げて、面白い話や楽しい話をしてくれた。
- ・困ったときすぐに声をかけてくれた。分からないことを一つ一つ丁寧に教えてくれた。
- ・自分の経験を後輩に伝えたいという気持ちが伝わってきた
- ・優しく接してくれた。楽しい思い出をたくさんくれた。



令和7年度 未来を切り拓く Dream 授業 報告書

静岡県 企画部 総合教育課

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号

電話番号 054 - 221 - 3764

F A X 054 - 221 - 2905

メー ル [sougouEDU@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:sougouEDU@pref.shizuoka.lg.jp)